

平成 30 年 8 月 30 日

嘉麻市教育委員会 殿

嘉麻市学校施設整備審議会
会 長 安 永 卓 生

答 申 書

嘉麻市学校施設整備審議会は、平成 30 年 7 月 5 日付 30 嘉教学第 656 号にて嘉麻市教育委員会から「嘉麻市学校施設整備基本方針について」の諮問を受け、「5 中学校区の小中一体型校の施設整備を、公平・円滑に推進していくための指針となる、基本コンセプト及び基本コンセプト実現に向けた施設整備の考え方」について、慎重に審議を行いましたので、下記のとおり審議の経過を報告し、別添「嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針（答申）」のとおり答申いたします。

記

1. 審議の主な内容

（質疑）

1	近隣市町村での義務教育学校、小中一貫校又は小中連携校の設置状況について。
	⇒近隣では、飯塚市が小中一貫校を設置している。香春町は義務教育学校の設置を予定している。施設一体型小中連携校については、設置事例はない。
2	小中連携校のメリットとデメリットは？
	⇒教育は、地域の特色や地域性があるため、一律明快な回答はない。 嘉麻市では現在小中連携の取り組みを進めており、不登校児童生徒数の減少や学力が県・国の平均に近づいている等の取り組み効果が出てきている。嘉麻市が積み重ねてきた小中連携の取り組みを十分に生かすことができ、更なる小中連携を推進できるものが施設一体型小中連携校であるとする。

3	小中の連携だけを重視するのであれば、義務教育学校にした方が教職員数の削減などになるのでは？
	⇒嘉麻市は 30 人以下学級を実施し、子ども達一人一人に目を向ける教育を実施している。不登校数も減少していることから、嘉麻市の子ども達にとっては先生が自分たちに関わってくれと感じることがポイントと考えている。まずは、効果が出ている小中連携校を。将来的には、義務教育学校等への移行も見据えた施設整備を行っていききたい。
4	今回諮問された施設整備基本方針の考え方は？
	⇒全校区に共通する基本方針（基本コンセプト）となる。各校区の詳細な計画については、校区別に整備計画を策定していく予定である。
5	「学校プールを設置する場合」とは？
	⇒学校プールの建設費用とプール利用期間（約 1 ヶ月間）の関係について検討している。市内には 2 か所の公設温水プールが設置されているため、温水プールの活用も含めて検討する必要がある。
6	「通級指導教室設置校では」とは？
	⇒通級指導教室は、市内の児童が校区に関係なく通うことが可能な施設である。現在は、稲築西小学校に発達障害、嘉穂小学校に言語の通級指導教室を設置している。
7	外国語（英語）教育の教育内容はどうなっていくのか？
	⇒小学校は、3・4 年生で年間 35 時間の外国語活動。5・6 年生で年間 70 時間の外国語科になり、聞く、読む、話す、書くという領域で評価していくことになる。また、中学校では授業時間の内、一定時間をオールイングリッシュで授業を組立てる目標も示されている。嘉麻市では ALT を導入しており、ネイティブな発音に触れる機会は十分確保している。
8	非構造部材の耐震化とは？
	⇒建物本体については、現行建築基準で設計・建設されるため問題はないが、非構造部材といわれる天井や書架などについても、落下防止や転倒防止などの対策を行う。

（意見）

1	学校に対し一番心配していることは「子どもの安全」である。地域に開かれた学校とするのであれば、不審者対策が重要である。最近の不審者は不審者に見えない事案も見受けられる。学校内へ入るためのルール作り等の必要性を感じる。
2	日当たりの良い明るい環境や、地元の木材を活用するなど、嘉麻市の自然を活かした建物づくりをしてほしい。
3	地元の木材等を活用することで、校舎に愛着を感じられると思う。
4	保護者は子どもの教育に関心がある。若い世代に嘉麻市をアピールする特徴の一つに、新しい教育の外国語科に特徴を出すことも良い方法ではないか。
5	飯塚市の鎮西校を視察した際に、体育館にクールピット（地熱を活用した空気循環）が採用されており、体育館独特の熱気や汗臭さを感じなかった。避難所の観点からも、空気循環や衛生面に配慮したつくりにしてほしい。

6	今後の児童生徒数の変動により、改築や改装が必要になることにも配慮した構造や素材選定をしてほしい。
7	地域に開かれた学校ということで、障がい者等に配慮した駐車場の整備も示してほしい。

2.審議会開催経過

回数	日時	主な内容
—	平成30年7月5日（木）	大雨のため延期
第1回	7月19日（木）	○委嘱 ○諮問
第2回	8月2日（木）	○基本方針について
第3回	8月24日（金）	○基本方針について
第4回	8月30日（木）	○答申

3.先進地視察

日時	場所	参加者
平成30年7月31日（火） 午前10時～	飯塚市立小中一貫校 飯塚鎮西校	村上委員 飯田委員 末吉委員 日高委員 福永委員

審議会委員名簿

選出区分	所属	氏名	備考
学識経験者	九州工業大学 教授	安永 卓生	会長
保護者の代表	嘉麻市PTA連合会（山田中校区）	鬼塚 美穂	
	嘉麻市PTA連合会（稲築中校区）	永富 靖人	副会長
	嘉麻市PTA連合会（稲築東中校区）	野上 真吾	
	嘉麻市PTA連合会（碓井中校区）	田中 豊和	
	嘉麻市PTA連合会（嘉穂中校区）	芳野 拓	
公共的団体が推薦する者	山田地区行政区	村上 曙生	
	稲築地区行政区	飯田 千鶴美	
	碓井地区行政区	末吉 進一	
	嘉穂地区行政区	日高 寛司	
学校の代表者	嘉麻市立稲築東小学校 校長	福永 貴義	
	嘉麻市立碓井中学校 校長	藤井 隆昭	